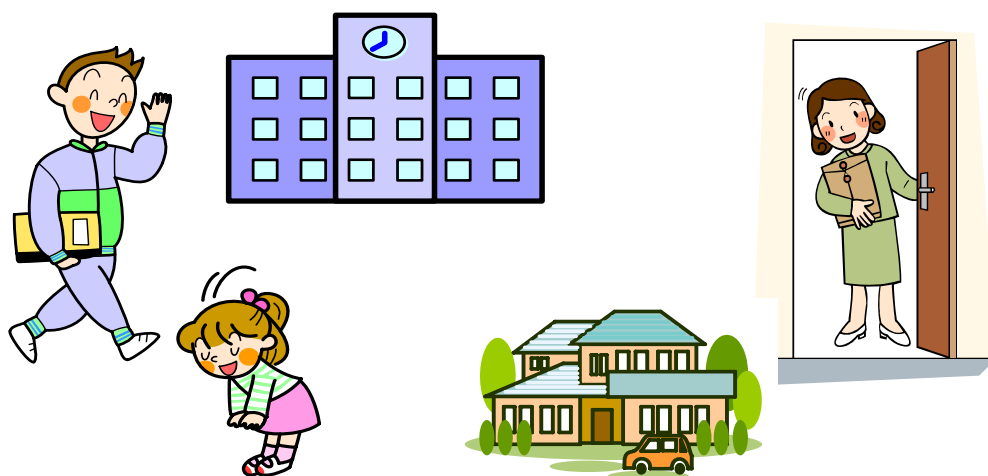

学校から家庭への効果的な 支援方法の調査研究

～学校から家庭教育へのアプローチⅠ～ (小学校入学時編)



平成19年3月
埼玉県立総合教育センター

目 次

I	研究主題	-----	1
II	研究主題設定の趣旨	-----	1
III	研究のねらい	-----	2
IV	研究の進め方と経過	-----	2
V	小学校入学時における基本的生活習慣に関する 教員・保護者へのアンケート調査	-----	3
VI	モデルプラン（小学校入学時の学校から家庭への効果的な支援方法）の提案		
1	保護者の来校の機会をとらえる	-----	9
	（1）就学時健康診断		
	（2）入学説明会		
2	保護者の足を学校に向ける機会を増やす	-----	23
	（1）学校行事・PTA活動への参加		
	（2）長期休業日における活動への参加		
3	保護者の授業参観の機会を増やす	-----	29
	（1）幼・保との連携（授業を通しての交流）		
	（2）授業参観、研究発表会等の公開		
4	保護者への情報発信を増やす	-----	35
	（1）学校だより、ホームページの活用		
	（2）子育て相談の機会設定		
VII	研究のまとめ	-----	39

【調査研究の概要】

今、家庭の在り方が問われている。特に、子どもたちのあいさつや整理整頓など、基本的生活習慣の欠如が指摘され、家庭でのしつけについて、その方法や親の意識に課題があるとの意見もある。このように家庭の教育力の低下が叫ばれている中、小学校入学時の子どもに焦点を当て、教員と保護者にアンケート調査を実施した。この調査結果を基に、小学校の教育活動の一環として位置付けた家庭教育へのアプローチの方策について研究を進め、モデルプランを作成し提案することとした。